

令和4年度 福知山市予算案の概要

令和4年2月
福知山市

構成

I 当初予算の全体像

II 新型コロナウイルス感染症関連事業

III 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

- ①市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
- ②市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
- ③市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
- ④市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
- ⑤市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
- ⑥市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
- ⑦市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
- ⑧市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち
- ⑨持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

IV 持続可能な財政構造の堅持

I 当初予算の全体像

変わる時代に 幸せを生きるまちづくり予算

会計	令和4年度	令和3年度	増減
一般会計	432.0億円	401.0億円	+31.0億円(+7.7%)
特別会計(11会計)	196.4億円	192.7億円	+3.7億円(+1.9%)
企業会計(3会計)	296.3億円	272.2億円	+24.1億円(+8.8%)
全会計 総額	924.7億円	865.9億円	+58.8億円(+6.8%)

【当初予算のポイント】

- ◆令和4年度は、新たなまちづくりの指針となる「まちづくり構想 福知山」がスタートする年度であり「変わる時代に 幸せを生きるまちづくり予算」として積極型の予算を編成した。
- ◆喫緊の対策である「新型コロナウイルス感染症対策」を行いつつ、「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくりを進め「変わる時代」に求められる課題に的確に対応していくために新規・拡充事業にも積極的に予算を配分した。
- ◆一般会計の予算総額は、当初予算比較では31.0億円の大幅な増となったが、これは投資的経費をはじめとした政策的な経費を多く盛り込んだことによる。
- ◆特別会計は、国民健康保険事業特別会計の1.9億円の増、介護保険事業特別会計(保険事業勘定)の1.4億円の増、後期高齢者医療事業特別会計の1.0億円の増などにより、総額で3.7億円の増となった。
- ◆企業会計は、水道事業会計が5.7億円、下水道事業会計が12.2億円、病院事業会計が6.2億円の増となり、総額で24.1億円の増となった。
- ◆全会計の総額は、58.8億円の増となり、当初予算としては過去最大の予算額となった。

I 当初予算の全体像

一般会計	令和4年度	令和3年度	増減
歳入・歳出総額	432.0 億円	401.0億円	+31.0億円(+7.7%)
(歳入)一般財源	269.8 億円	266.2億円	+3.6億円(+1.3%)
(歳入)市債	26.6 億円	19.5億円	+7.1億円(+36.5%)
(歳出)経常的経費	337.9 億円	333.5億円	+4.4億円(+1.3%)
(歳出)投資的経費	53.4 億円	38.0億円	+15.4億円(+40.4%)

※ 臨時財政対策債は一般財源に含み市債に含まない ※増減率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【一般会計歳入予算のポイント】

- ◆ **市税**は、個人市民税が2.0億円、法人市民税が3.2億円の増を見込むなど、総額で**5.1億円の増**
新型コロナウイルス感染症の影響が大きくあらわれる徴収猶予分納付が影響しない**現年課税ベース**では、**7.5億円の増**
- ◆ **普通交付税及び臨時財政対策債**は、市税等の増に伴う基準財政収入額の増により、合わせて**5.9億円の減**
- ◆ **一般財源全体**では地方消費税交付金の伸び等が影響し**3.6億円の増**
- ◆ 臨時財政対策債を除く市債は、投資的経費の増に伴い**7.1億円の増**

【一般会計歳出予算のポイント】

- ◆ **総額**は、新型コロナウイルス感染症関連経費に加え、つつじが丘・向野団地建替や三和支所大規模改修、地域公民館等長寿命化(大規模改修)などの大型事業に取り組むことに加え、財源の約8割を他団体からの負担金で実施する京都府中・北部地域共同消防指令センター整備の10.4億円、公債費繰上償還の4.0億円といった増加要因が影響し、前年から31.0億円増加し**過去最大の432.0億円**
- ◆ **経常的経費**は、保育所委託事業、消防団活動事業、福知山公立大学運営交付金、地方債元利償還金の増などにより**4.4億円の増**

【その他のポイント】

- ◆ **合併算定替逓減対策基金**は**2億円の取り崩し**〔第6次行革で予定した取崩し予定額のとおり〕
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策経費の計上にあたっては、令和3年度の国の補正予算(第1号)で措置された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、財政調整基金を取り崩さずに編成

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症関連事業

令和元年度の3月補正予算以来、
本市では、新型コロナウイルス感染症対策として、
国府による支援や対策を踏まえつつ、
更なる支援や対策の必要性を踏まえた
独自の取組を適時講じています。

当初予算では新型コロナウイルスワクチン接種経費に加え、
新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響に配慮した
関連事業を計上しています。

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症関連事業

※事業名の前に(繰越)と記載しているものは、令和3年度中に予算措置し、その全部又は一部を令和4年度に繰り越して事業実施をするものです。

感染予防・重症化予防の効果を高めます

主要事項説明書
掲載ページ

新型コロナウイルスワクチン接種事業

1727万円 P.19

(繰越)新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億391万円

新型コロナウイルス感染症に係る3回目のワクチン接種及び5歳から11歳の小児対象のワクチン接種について、円滑な接種体制を構築し、安心かつ確実なワクチン接種を実施します。

(主な取組)

◆個別・集団によるワクチン接種の実施

集団接種は、ハピネスふくちやま、三和荘、夜久野ふれあいプラザ、大江町総合会館で実施します。

引き続きコロナ禍の影響を受ける学生の学びの継続を支援します

福知山公立大学 学生修学支援臨時交付金事業

1643万円 P.21

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、学生の学びの継続を支援するために地方創生臨時交付金を活用し、福知山公立大学が行う独自の授業料減免に対する支援を引き続き行います。

(主な取組)

◆年間授業料の1/3(178,600円)の減免支援

授業料減免の対象者

- ・高等教育無償化制度の対象者
- ・独自の所得基準(国制度の約1.3倍)の範囲内のもの

支給基準に基づき速やかな支給に努めます

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

1億5333万円 P.20

R3には9億7287万円の予算(9500世帯分)を措置し給付を開始しています。R4は1500世帯分を予定しています。

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、様々な困難に直面した方々に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に対して、給付金を支給します。

(主な取組)

◆住民税非課税世帯への支給：10万円/世帯

◆家計急変世帯への支給：10万円/世帯

新型コロナウイルス感染症に係るセーフティネット機能を強化します

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業

370万円 P.22

新型コロナウイルス感染症の影響が長期にわたり、既に総合支援資金の特例貸付を利用できない世帯が存在します。

こうした世帯に対して、就労による自立へ、またはそれが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給します。

(主な取組)

◆新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給

支給対象者

総合支援資金の再貸付を終了した世帯または再貸付について不決定とされた世帯、もしくは緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付を借り終わった世帯であって支給要件を満たす世帯(ただし、生活保護世帯は除く。)

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症関連事業

消防署内の感染リスクを低減させて消防・救急機能の維持に努めます

消防庁舎改修事業 1080万円 P.23

消防庁舎は、災害時において災害応急対策の拠点としての機能を適切に発揮する必要があるため、老朽化の進んでいる施設や設備について計画的な改修を行い、施設機能の維持を図ります。

新型コロナウイルス感染症流行下における消防職員のクラスター発生を防止するため、仮眠室や浴室の個室化、消毒室といった施設・設備の改修を行い、消防・救急機能を維持し、適正な業務の継続を図ります。

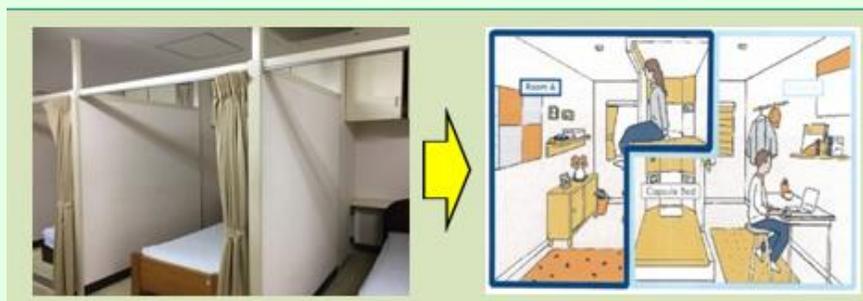
(主な取組)

◆消防署感染防止対策改修工事

出動隊帰隊時に使用する車庫等の水栓の非接触型自動水洗化を行います。

◆東分署・北分署感染防止対策改修に伴う設計業務

令和5年度に、仮眠室(更衣室兼用)や浴室など生活スペースの個室化、救急資機材等の消毒室整備、出動隊帰隊時に使用する車庫等の水栓の非接触型自動水洗化を行う予定です。



仮眠室個室化のイメージ

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しつつ行政機能を維持します

拡充 テレワーク等環境整備事業 2186万円 P.24

市役所業務を執行するにあたり、非常時(感染症・災害等発生時)における行政機能の維持及び平常時の多様な働き方の実現を目的として配備したテレワーク端末の運用管理を行います。

本年度には業務用無線LAN、タブレット端末を追加整備するとともに、Web会議ツールや文書共有システム、自治体専用チャットツールを活用することで、新型コロナウイルス感染症等に対する業務継続性の向上及び情報セキュリティと業務効率化の両立を図ります。

(主な取組)

◆テレワーク環境の提供

↳テレワーク端末(インターネットから分離された行政専用ネットワークに接続できる閉域SIMを利用)の運用管理

◆タブレット端末及び業務用無線LANの整備【拡充】

↳タブレット端末の追加配備(配備済の144台に加えて未配備の課長級職員分41台を追加)

↳本庁舎、ハピネスふくちやま、各支所などへの業務用無線LAN整備

◆文書共有・会議システム、チャットツールの運用

事務のペーパーレス化にも寄与します。

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、 ほどよい力加減で助け合うまち

市民と様々な情報を共有しながら、
災害対応や生活支援、日常の生活手段の確保などを、
地域と協働して進めます。

地域の構成員である市民や企業、NPO、各種団体、
関係人口などが地域の担い手となり、
自助・共助・公助の役割分担も踏まえた
持続可能なまちづくりを進めます。

Ⅲ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

市民と共にまちづくり構想を推進します

拡充 まちづくり構想推進事業 715万円 P.25

「福知山市自治基本条例」に基づき、人口減少や人口構造の変化などの社会環境の変化も踏まえ、市民が「幸せを生きる」まちを目指して、今後のまちづくりの指針となる「まちづくり構想 福知山」の策定を進めてきました。

令和4年度からは、本構想推進の母体として、「(仮称)まちづくり構想推進市民会議」を立ち上げ、市民協働のまちづくりに向けた検討を行います。また、まちづくり構想に基づき、市が取り組む施策について進捗評価をするための仕組みを構築します。

- (主な取組)
- ◆「(仮称)まちづくり構想推進市民会議」の立ち上げ
 - ◆令和5年度から実施予定の施策進捗評価の準備・検討
 - ◆構想の冊子等の作成

これまでの市民憲章推進運動の活動成果をとりまとめ実施します

新規 市民憲章運動推進第56回全国大会 福知山大会開催事業 310万円 P.26

福知山市市民憲章推進協議会が設立され30年を迎えるにあたり、全国で展開される市民憲章推進運動と協働して「市民憲章運動推進第56回全国大会福知山大会」を開催し、市内外に福知山市市民憲章推進運動を広めます。

- (主な取組)
- ◆「市民憲章運動推進第56回全国大会福知山大会」の開催
 - ↳日時 令和4年11月18日(金)～20日(日)
 - 会場 福知山市厚生会館
 - 内容(予定) 全国市民憲章運動連絡協議会役員会・総会 記念講演、まちづくり実践発表等
 - 主催 福知山市市民憲章推進協議会
全国市民憲章運動連絡協議会

全国35団体が加盟 (R3.10.1現在)

全国的な移住ブームと充実した支援により本市への移住を更に促進します

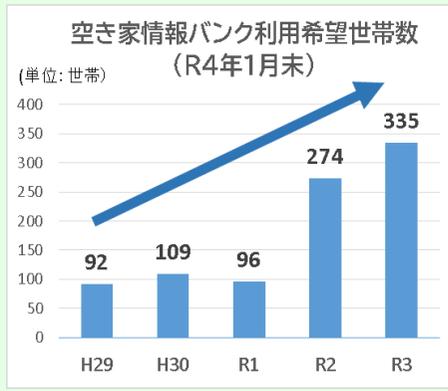
移住・定住促進事業 4139万円 P.27

コロナ禍を契機に全国的に地方移住への関心が高まる中、本市への移住希望者は増加しています。

オンラインと現地での支援を臨機応変に組み合わせて、多様化する移住希望者のニーズに合った支援を行い、関係人口や将来的な移住・定住者の増加と担い手の確保による地域振興を図ります。

- (主な取組)
- ◆移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等
 - ◆空き家情報バンク活用支援
 - ◆京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金

移住スカウトサービス(SMOUT)も活用



主な支援制度	特区※	支援内容	支援額等
空き家情報バンク事業	特区のみ	空き家改修費補助	補助率10/10 上限180万円
		空き家清掃費等補助	補助率10/10 上限10万円
		地域受入体制整備費への補助	補助率10/10 上限50万円
	全域	空き家改修費補助	補助率1/2 上限100万円
		空き家清掃費等補助	補助率1/2 上限10万円
	共通	仲介手数料補助	売買:補助率1/2 上限20万円

※特区とは、京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域のことで、令和3年度末で、三和町全域・夜久野町全域・大江町河守上・上六人部・中六人部・三岳・雲原・佐賀が指定されています。令和4年6月から大江町を全域に拡大するよう申請予定です。 8

Ⅲ-①

市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

行政だけによらない市民自らによる課題解決を行う仕組みづくりを進めます

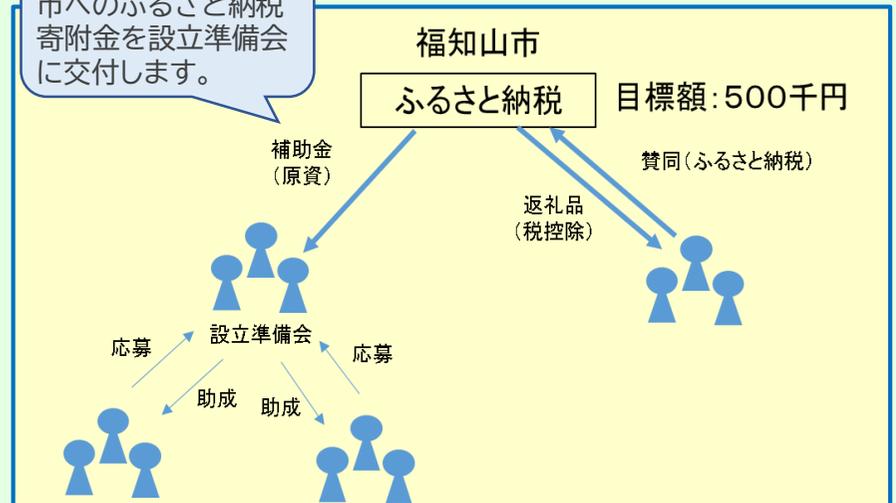
コミュニティファンド構築推進事業 90万円 P.28

市民が主体となった地域の課題解決や活性化への取組に対し、市民が寄附という形で支える「福知山市版コミュニティファンド」の構築をめざします。

(主な取組)

- ◆福知山市版コミュニティファンド設立準備の支援
- ◆ふるさと納税版クラウドファンディングの仕組みを活用とした試行事業の実施

令和4年度は福知山市へのふるさと納税寄附金を設立準備会に交付します。



ふるさと納税クラウドファンディング活用のイメージ

地域住民の支え合いによる移動手段確保の取組を実証実験により検討します

乗合タクシー導入モデル事業 195万円 P.29

今後のバス路線再編に伴う補完交通の一つとして、事前予約型のデマンド型乗合タクシーの導入を検討しています。本市で展開していくにあたり、運営手法、運行内容や財政負担の適正なあり方を検証するためのモデル事業として、多様な運行実績に基づく検証を行うため、令和4年度から新たに北陵地域においてモデル事業を実施します。

令和3年度までは下豊富北部地域で実施

(主な取組)

- ◆乗合タクシーの導入に向けた実証実験運行
- ◆運行のあり方や支援内容についての検証

実証実験運用の内容	
対象地域	北陵地域
運行形態	定時不定路線のデマンド型乗合タクシー
支援内容	運行計画の立案、導入に向けた運行事業者等との調整、運行費用の支援等



Ⅲ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

三和地域の交流・振興の拠点となる施設の整備を推進します

拡充 三和地域交流拠点施設整備事業 2600万円 P.32

図書館三和分館移転改修事業はP.26に掲載

拡充 三和支所施設改修 1億2300万円* P.33 *三和支所施設管理事業 1億3532万円のうち

三和支所周辺に点在する施設を三和支所と三和荘の2拠点に集約することで、住民の利便性をより高め、「住み続けることができるまち」を目指した施設づくりを進めます。

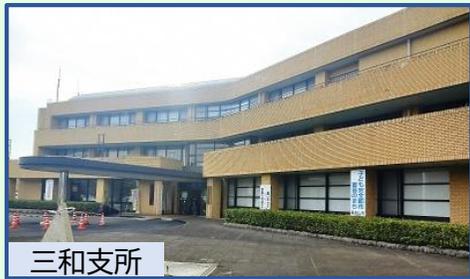
三和荘及び関連施設については、地域交流の拠点的施設として持続していくため、施設の改修を行います。また、三和支所については図書館三和分館を支所内に移転し利便性を向上させるとともに、環境性能の高い空調、照明設備への改修を実施します。



三和荘

(主な取組)

- ◆三和荘体育館改修
- ◆三和荘テニスコート照明改修
- ◆三和支所照明改修
- ◆三和支所空調改修
- ◆三和支所便所等改修



三和支所

シティプロモーションを継続し本市のブランドイメージを向上させます

福知山PR戦略総合推進事業 3644万円 P.34



本市の地域ブランドを高めて福知山ファンを増やし、関係人口・交流人口の拡大とシビックプライドの醸成を図ることを目的に、コミュニケーションを通して社会と良好な関係を築く、パブリックリレーションズ発想のシティプロモーションに継続して取り組みます。

(主な取組)

- ◆テーマ「明智光秀」: 地域ブランド「明智光秀のまち」を強化するため、福知山市に通底する「まちづくりへの挑戦心=光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動
- ◆テーマ「鬼」: 昨今の鬼ブームを受けて、現代社会の関心に沿った形で本市の鬼資源の情報発信を行うなど、鬼に関する地域ブランドを育成するためのPR活動
- ◆市役所職員や市全体のPR力・広報力向上のための各種取組



全国の投票で選ばれたスペクタクル新作能『光秀』が誕生(2022.3予定)

Ⅲ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

幅広い世代へのスマートフォンの普及でスマートシティの利便性拡大に繋がります

新規 スマートフォン普及促進事業 1635万円 P.36

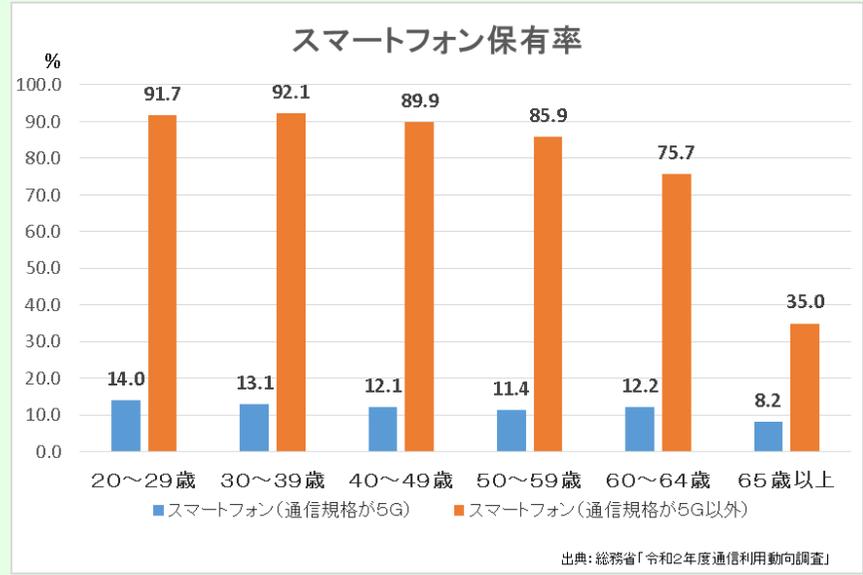
すべての市民が「いつでもどこでも」ICT等による利便性の高い社会の中で、安心安全に暮らし続けていくことを目指して、スマートシティを推進しています。

その中で、行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済等を広げるためにスマートフォンの普及が欠かせないものとなっていますが、高齢者におけるスマートフォンの普及率は、若年層と比較して低く(2020年8月末総務省調査)、かつ使い方に不慣れな高齢者が多い傾向にあることから、高齢者におけるスマートフォンの普及率の向上を図ります。

(主な取組)

- ◆スマートフォン使い方講座の開催
- ◆65歳以上の市民へのスマートフォン購入補助
 - ↳対象機種:マイナンバーカード対応のスマートフォン
 - ↳対象者要件:マイナンバーカードを所持または申請中であること
スマートフォンの使い方に慣れるための講座を受講すること
 - ↳補助額:最大1万円/人

各地域公民館でスマホやタブレットなど身近なICT機器の便利な使い方や活用法を学ぶ生涯学習市民講座も、別事業「スマートシティ生涯学習市民講座実施事業」にて引き続き実施していきます。



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、 生かし、次世代につないでいくまち

地球環境問題を自分事として捉え、
身近なことから実践するまちづくりを推進します。
災害はわがまちにとって常に隣り合わせの問題であり、
市民の生命と暮らしを守ることを第一に対策を講じます。
また、地域資源の活用を図りながら、
豊かな自然環境を後々の世代に引き継いでいけるよう、
保全と利活用の両立を推進していきます。

Ⅲ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロ・再生可能エネルギー100%の達成を目指して

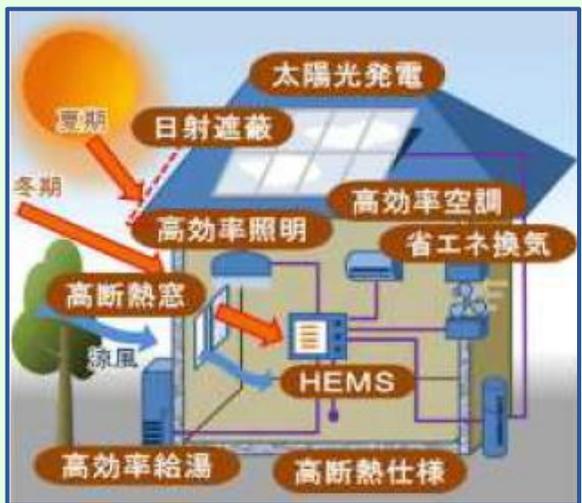
地域貢献型エネルギー推進事業 1374万円 P.40

世界的に気候変動対策やSDGsの推進が求められている中、福知山市域における2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ(ゼロカーボン)や使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えることを目指し、エネルギーの地産地消と地域課題解決によって地域内における「環境・経済・社会の好循環」を生み出す、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めます。

(主な取組)

- ◆ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及に向けたセミナーの開催
- ◆気候変動対策に資する冊子作成
- ◆住宅への再エネ・省エネ設備の設置者に対する補助
 - ↳ZEH支援補助金
 - ↳太陽光発電設備+蓄電設備導入補助金

ZEHとは、Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、高断熱化のための設備や太陽光などの発電設備、LED照明などの省エネ設備等を備えることで、一次エネルギーの消費量をプラスマイナスゼロにできる住宅のことをいいます。



ZEHイメージ図

環境に配慮したまちづくりを本市のアイデンティティとして

環境基本計画推進事業 1591万円 P.41 **拡充** 指定ごみ袋作製事業 6172万円 P.59

市民一人ひとりが、環境問題を身近に捉え、再生可能エネルギーの普及を通して、温室効果ガスの排出削減に取り組むための指針を示すとともに、環境問題や自然との共生を自分事として捉える機運の醸成を図り、次世代に誇れる環境に配慮したまちづくりの実現をめざします。

また、「燃やすごみ袋」の素材を令和4年度作製分から見直します。素材には焼却処分時の温室効果ガス排出抑制に資する植物由来原料の「バイオマスプラスチック」を25%配合します。

(主な取組)

- ◆(仮称)福知山市エネルギー・環境基本計画策定
- ◆第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトの実施
- ◆指定ごみ袋の作製【**拡充**】

環境ボランティア団体「福知山環境会議」と市が協働して実施



「福知山環境会議」の活動の様子



地域貢献型再生可能エネルギー事業推進に関する5者連携協定を活かし、発電事業者に公共施設の屋根等を貸してその施設で使用する電力の一部を発電してもらうオンサイトPPAの取組を令和3年11月にスタート

Ⅲ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

照明のLED化を積極的に進めて消費電力を大幅に低減します

公共施設照明LED化改修 1億1330万円* P.42

*このほかに、放課後児童クラブ整備事業(P.20)、地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業(P.24)、桃映地域公民館等整備事業(P.24)でも照明LED化改修を実施します。

拡充 集会施設等整備事業(うちゼロカーボン推進分) 100万円 P.139

温室効果ガス排出量を削減していくため、積極的に水銀灯や蛍光灯などの既存の照明からLED灯への更新を進め、電力使用量の大幅な低減を図ります。

また、地域の集会所でのLED灯への更新を促進します。

照明LED化に取り組む主な公共施設	
設計	市民交流プラザ、六人部地域公民館体育館
工事	三和支所、三和町運動広場(テニスコート)、福知山城天守閣、佐藤太清記念美術館、市民体育館、斎場、昭和小学校体育館、修斉小学校体育館、川口中学校体育館、夜久野学園体育館、図書館三和分館、大江放課後児童クラブ、日新地域公民館体育館

- (主な取組)
- ◆公共施設照明のLED化に係る設計及び工事
 - ◆地元管理の集会施設等の改築・改修への補助



↳補助率1/3(LED化改修分は2/3)【拡充】

ゼロカーボン推進分

脱炭素社会の実現への一歩として電気自動車等の普及を推進します

新規 電気自動車等急速充電設備整備 6070万円* P.44

*大江支所施設管理事業、庁舎管理事業、既設公園管理事業に予算計上

拡充 公用車電気自動車等導入 1980万円* P.45

*電気自動車等導入事業、母子保健事業、有償運送運行事業、不登校対策推進事業に予算計上

脱炭素社会の実現に向けたEV等普及を促進するため、急速充電設備を設置し、市域内の利便性の向上を図るとともに、新たな人の流れを創出します。

さらに、特殊車両等を除いて2040年までに公用車EV等100%化を目指して計画的に更新し、EV等を「動く蓄電池」として災害等に活用するなどレジリエンスを強化します。

一般利用向け 急速充電設備整備箇所
市庁舎北側駐車場付近 三段池公園駐車場(武道館前) 大江支所南西河守交差点付近

- (主な取組)
- ◆一般利用向け急速充電設備の整備【新規】
 - ◆公用車(電気自動車等)の購入【拡充】

災害時に備えてV2Lシステム(※)も順次購入します。
※電気自動車等の蓄電機能や燃料電池車の発電機能を利用して、車両から電力を供給するシステムのこと。V2Lは「Vehicle to Load」の略称。



令和4年1月には、停電時における避難所等への電気自動車を活用した給電体制の構築に向けた災害時の連携・支援に関する協定を、京都日産自動車(株)、日産自動車(株)と締結。同じく京都三菱自動車販売(株)、三菱自動車工業(株)とも締結。



急速充電設備のイメージ

Ⅲ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

本市の森林面積は市域の約4分の3 森林の適正管理で豊かな地域資源を守ります

森林経営管理事業 1億1332万円 P.46

森林環境譲与税を活用します。

森林の適正な経営や管理が行われないことで土砂災害の防止や水源涵養等に悪影響が与えることへの懸念から、「森林経営管理法」が施行され、森林を適正に経営・管理することが求められています。

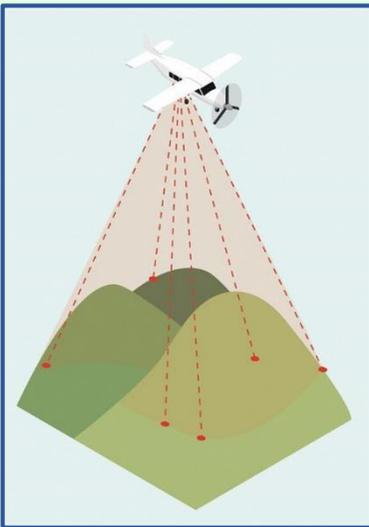
市域内の対象森林における森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林の整備を推進します。

(主な取組)

- ◆対象森林所有者への経営管理に関する意向調査(室・市寺地区)
- ◆経営管理権集積計画の策定(室・市寺地区)
- ◆意向調査対象森林の境界明確化(河守・河西地区)
- ◆意向調査対象森林の現況調査(市内7地区)



森林資源情報取得のための現地調査



森林航空レーザ測量イメージ図

循環型森林整備を市全域へ広げることを見据え夜久野地域でモデル事業に取り組みます

新規 循環型森林整備モデル事業 2261万円 P.47

全国的にも伐期を迎えた人工林の更新は課題とされている中で、モデル的に夜久野地域において、地域と協働し循環型森林整備を行います。

また、このモデル的に実施する循環型森林整備を市全域に波及させる方法を検討し、具体的な森林整備の方向性を示すために「(仮称)福知山市森林ビジョン」を策定します。

(主な取組)

- ◆夜久野地域でモデル的に循環型森林整備を実施
 - ↳主伐、再造林や搬出間伐などその森林に合った施業方法による
- ◆「(仮称)福知山市森林ビジョン」の策定
 - ↳市内の森林資源情報やモデル的に実施した内容などを踏まえ、具体的な森林整備の方向性などを示す



循環型森林整備のイメージ

エリートツリー

Ⅲ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

地域防災力の要である消防団員の処遇を改善します

拡充 消防団活動事業 1億4523万円 P.49

消防団員数は、年々減少をしています。一方で大規模災害に際しては、消防団が大変重要な役割を果たしており、災害の多発化と消防団員の減少により消防団の負担も大きくなっていることに鑑み、消防団員の処遇の改善及び安全装備の充実を行います。

(主な取組)

- ◆年額報酬の増額【拡充①】
- ◆出動報酬の創設・支出【拡充②】
 - ↳これまで費用弁償として支出していた出動手当を出動報酬として支出
- ◆費用弁償の支出【拡充】
 - ↳出動に伴う実費を支出(500円/一出動)
- ◆安全装備品の整備
 - ↳視認性、耐水性、透湿性の高いレインウェアの整備【新規】

① 年額報酬		
階級	班長	団員
改正前	31,500円	22,500円
↓	↓	↓
改正後	37,200円	36,600円

② 出動報酬		
出動報酬区分	災害、警戒	訓練等
改正前 (費用弁償)	1回 2,000円	1回 1,200円
↓	↓	↓
改正後 (出動報酬)	5～8時間 8,000円	1回 2,000円
	3～5時間 5,000円	
	3時間以内 3,000円	

京府中・北部の災害情報を一元化・共有化します

中・北部地域共同消防指令センター整備事業 10億3693万円 P.51

[債務負担行為額(令和4～5年度) 20,900千円]

福知山市消防防災センターにおいて、令和6年4月から京府中・北部地域の6消防本部が共同で運用する消防指令センターの整備を行い、災害情報の一元化・共有化を図り、より災害に強い消防防災体制を構築します。

(主な取組)

- ◆消防指令システム整備
- ◆消防指令センター改築工事
- ◆消防指令システム整備施工監理

共同化に参加する団体
・福知山市
・舞鶴市
・綾部市
・京丹後市
・京都中部広域消防組合
・宮津与謝消防組合

各団体から負担金を受け入れ、福知山市で事業を実施します。

継続費(単位:千円)		
	システム整備	指令センター改築工事
令和4年	957,549	79,079
令和5年	410,378	33,891
合計	1,367,927	112,970



現在の消防指令センター

Ⅲ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

より細かなローカルエリアリスク情報を提供し市民の迅速・的確な避難行動につなげます

「防災アプリ」を活用！



拡充 避難のあり方検討会推進事業 2058万円 P.56

「福知山市避難のあり方検討会」の最終取りまとめに基づく各テーマの対応策について、その具現化を図るとともに、取組についての進捗状況の確認や方向性の検証を行います。

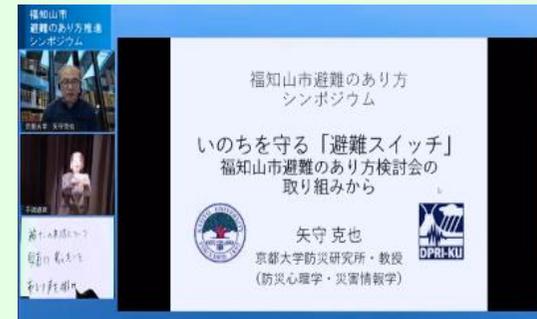
(主な取組)

◆避難スイッチ情報発信に係る事業【拡充】

↳「避難情報・ローカルエリアリスク情報発令システム」構築

◆市民啓発のための「避難のあり方シンポジウム」の開催、災害時要配慮者に関する災害時ケアプランの作成及び研修会開催、地区避難所への開設費用支援など

地域ごとに定める危険値超過を検知し、市民にきめ細やかな情報発信をするためのシステムです。



令和3年度の避難のあり方シンポジウム

災害対応力の高い地域共生社会の実現に向けて

新規 災害対応力向上事業（高齢者福祉施設） 132万円 P.58

新規 災害対応力向上事業（障害者福祉施設） 55万円 P.58

本市の避難行動要支援者名簿対象者は3,000人を超えており、うち要介護認定を受けている人、障害者手帳を持っている人を合わせると7割を超えています。こうした状況の中、災害時に要配慮者を受け入れる体制として、(一社)福知山民間社会福祉施設連絡協議会と福祉避難所の協定を締結し、要配慮者への避難支援の体制整備を図っています。

気象変動の影響により災害が激甚化・頻発化する近年にあって、災害時に地域の要配慮者に対する支援活動をさらに促進します。

(主な取組)

◆社会福祉法人等が取り組む災害用備品・備蓄品等の整備、危機管理に係る研修等の実施経費への補助

↳対象経費の1/4を補助(上限額11万円/施設)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、 共に育み、共に育つまち

どんな場面においても個人の尊厳が守られ、
子どもから大人まで誰もがお互いの生き方を
尊重することを基本とした地域生活を確立します。

そのような、自分らしさが生かされ

多様性を認め合う環境の下で、

子どもたちの育ちを見つめ、共に支え合い、
安心して出産・子育てできるまちづくりを進めます。

Ⅲ-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

すべての人が多様な性を認め合う社会へ

新規 性の多様性推進事業 278万円 P.63

令和4年4月1日に「福知山市みんなの多様な性を尊重する条例」を施行します。

本条例の基本理念にのっとり、多様な性の尊重と理解促進を図るため、広く市民に周知、啓発します。

(主な取組)

- ◆啓発資料の作成
- ◆福知山城ライトアップ
- ◆講演会の開催及び動画配信
- ◆パートナーシップ運用の手引きの作成



レインボーフラッグ

性的マイノリティの方の生きづらさや困難を軽減・解消することを目的にパートナーシップ制度を導入します。

市の人権施策推進の柱として第4次福知山市人権施策推進計画を策定します

はばたきプラン・ゆめプラン策定事業 423万円 P.74

人権問題に関する市民の意識の変化や動向を把握するため、人権問題に関する市民意識調査を実施し、第4次福知山市人権施策推進計画を策定します。

(主な取組)

- ◆人権問題に関する市民意識調査の実施
- ◆第4次福知山市人権施策推進計画の策定
 - ↳意識調査の実施・内容の分析
 - ↳人権擁護委員、関係団体、学識経験者等で組織する人権問題協議会の開催

多様性を尊重し、だれもが社会の一員として尊重される社会づくりをめざします。

聴こえの障害を早期に発見し適切な支援につなげます

新規 新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業 299万円 P.64

先天性難聴を出生後早期に発見するための新生児聴覚スクリーニング検査について、費用の一部を公費助成することで経済的負担を軽減し、聴覚障害を早期発見し早期支援につなげます。

(主な取組)

- ◆新生児聴覚スクリーニング検査にかかる費用の一部を公費で負担

この事業のほかにも、弱視の早期発見のために3歳児健康診査に屈折検査機器を導入するなど、子どもの発達段階に応じた支援を充実します。



Ⅲ-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

世代を超えたつながりをもてるまちづくりを進めます

拡充 子育て応援まちづくり事業 654万円 P.65

“多世代交流”をキーワードに、三段池公園総合体育館カフェスペースを活用して、子育て世代を核とした新たな拠点を創出し、本市の中心的公園である三段池公園の施設を活用した世代を超えたコミュニケーションの場をつくれます。

(主な取組)

- ◆子育て世代が集い、交流できる拠点の創出【拡充】
 - ↳三段池体育館カフェスペースへの子育てコンシェルジュの配置 等
- ◆企業や地域事業者と連携した子育て支援事業の実施【拡充】
- ◆児童電子書籍貸出サービス等の活用【拡充】
 - ↳図書館蔵書検索システム、タブレット型端末を活用した学びのサポート

事業イメージ



親子で楽しめる
スポーツ教室などのイベント



子育て世代が集う行事の開催



電子書籍の活用

放課後児童クラブの施設環境を充実させます

拡充 放課後児童クラブ整備事業 4140万円 P.67

共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用者が低学年を中心に年々増加しています。保護者が安心して就労でき、放課後児童クラブを利用する児童が安心安全に過ごせるよう整備を行います。

大江学園横の旧大江学校給食センターを改修

(主な取組)

- ◆大江放課後児童クラブ移転 改修工事【拡充】
- ◆夜久野放課後児童クラブ エアコン設置工事【拡充】



放課後児童クラブの様子

III-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

積極的な保育士の就労支援と保育環境の充実で保育士を確保します

本市の合計特殊出生率は本州で3位の**2.02!!**

拡充 保育士確保対策事業 5984万円 P.69

幼児教育の無償化や共働き世帯の増加等により、保育ニーズの高まりは、年々増加の一途をたどる中、全国同様に本市においても、保育人材の不足が喫緊の課題になっています。また、特に0～2歳児の入所希望が増えており、入所保留児童数の増加も懸念されています。これらの状況を改善するため、保育施設での働きやすさを高め、保育人材を確保し入所保留児童数の解消を図ります。

(主な取組)

- ◆保育士定着支援事業【新規】
 - ↳新たに保育所等に勤務する保育士に採用後3年間で最大60万円を支給
- ◆保育士宿舍借り上げ支援事業
- ◆保育補助者雇上強化事業
 - ↳「保育補助者」の雇用にかかる費用を補助

- ◆保育体制強化事業
 - ↳「保育支援者」の雇用にかかる費用を補助
- ◆保育士修学資金貸付
- ◆保育士支援アドバイザーの配置
- ◆公立保育園(認定こども園含)の就労環境対策



保育士と園児たち

本市では総園児数の約9割を民間保育園で保育しています。

安心して子育てができる環境を提供します

民間保育所運営事業 3億4440万円 P.71

保育所委託事業 24億9533万円 P.72

子ども・子育て支援法による給付制度に基づき民間認可保育所に保育の実施を委託し、また認定こども園及び小規模保育事業者に対して給付費を支払い、保育環境を整備します。

さらに、施設の定員、職員の経験年数などに対して国が定める公定価格に含まれない費用や、公定価格で不足する費用、あるいは法律に基づき行う事業などに対して補助を行い、民間保育施設の運営を支えます。

(主な取組)

- ◆民間認可保育所への保育の実施委託
- ◆認定こども園・小規模保育事業者への給付費の支払
- ◆民間保育所等への各種補助金(※右表参照)
- ◆教育・保育施設等入所支度金の支給

(*) 民間保育所等への主な補助金	
補助名称	内容
民間保育施設特別運営補助金	保育士の処遇改善等に係る補助
障害児特別保育事業費補助金	発達支援を要する児童受け入れに係る補助
子ども・子育て支援交付金	延長保育、一時預かり事業等への補助 感染症対策のための改修・設備整備への補助
民間保育所嘱託歯科内科医報酬補助金	園児の歯科・内科検診費用に係る補助

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、 自分らしく学びを深められるまち

誰もが、何歳になっても

自らの成長を実感しながら暮らせるまちづくりを推進します。

子どもたちには、成長する喜びを覚え、
様々なことに挑戦する意欲が持てるよう、
学びや体験の機会を充実させます。

また、地域独自の有形・無形の文化財や
福知山公立大学の存在を生かしながら、
人生を豊かにするために

生涯を通じて学べる場づくりを進めます。

Ⅲ-④

市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

普通教室へのエアコン整備を終え設置が必要な特別教室への整備に着手します

拡充	小学校施設環境改善事業	1300万円	P. 83
拡充	中学校施設環境改善事業	1620万円	P. 83

学校教育環境の更なる改善を図るため、また新型コロナウイルス感染症対応として特別教室を利用した分散学習の機会が増加していくことを踏まえ、各小・中学校でエアコンが必要な特別教室への設置を進めます。

令和4年度から令和7年度の4年間で順次新規整備を進める計画で、令和4年度は小・中学校、各3校の設計業務に着手します。

- (主な取組)
- ◆ 小学校特別教室空調設備工事に伴う設計業務【拡充】
 - ↳ 惇明小学校、修斉小学校、六人部小学校
 - ◆ 中学校特別教室空調設備工事に伴う設計業務【拡充】
 - ↳ 桃映中学校、六人部中学校、日新中学校



GIGAスクール構想推進のための基盤をハード・ソフト両面から整備します

小学校ICT環境整備事業	6708万円	P. 84	中学校ICT環境整備事業	5708万円	P. 84
福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト		516万円	P. 98		

児童生徒1人1台のタブレット型端末の更なる活用等、教育情報化を進めるため、普通教室以外の場所でもタブレット型端末を活用できるよう、特別教室や体育館のWi-Fi環境の整備等、小・中学校のICT環境の充実を図ります。

また、タブレットを活用して、AI(人工知能)を搭載した学習教材(ソフトウェア)による学習履歴のデータ等を収集し、福知山公立大学との連携による分析を継続しながら、ICTを活用した福知山市ならではの効果的な最先端の教育を目指します。

- (主な取組)
- ◆ 小・中学校特別教室・体育館等無線LAN環境の整備
 - ◆ 校務用ネットワークサーバの更新
 - ◆ 小中学校財務会計システム用端末の更新
 - ◆ 学習等に関するデータ収集・データの分析、ICTを活用した教育手法の検討 等

全ての小・中学校で整備を進めます。



タブレットを使った授業風景

III-④

市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

地球環境に配慮し災害時には拠点となる施設として太陽光発電・蓄電システム・V2B機器等を備えます

V2Bとは、Vehicle to Buildingの略で、電気自動車の蓄電池から建物に電力を供給するシステムのことで

新規 桃映地域公民館等整備事業 5829万円 P.85

[債務負担行為額(令和4~5年度) 16,600千円]

桃映地域公民館は、平成29年4月に福知山市立の地域公民館として開設しましたが、桃映地域体育館内に設置しており、社会教育施設としての機能は限定されています。

今後、地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治、避難所、教育集会所等の多機能・複合型の地域コミュニティの拠点施設としての機能を十分に発揮するために、新たな施設整備を行います。

(主な取組)

- ◆既存施設(大正文化センター)解体に係る設計及び工事
- ◆仮移転先(東堀集会所)改修工事
- ◆新公民館新築に係る地質調査
- ◆新公民館新築設計業務(債務負担行為)

新公民館は現在の
大正文化センターの
場所に新築します。



現在の桃映地域体育館(左)には桃映地域公民館事務所が入っている(右)

令和3年度~7年度の5か年計画で老朽化の進む4地域公民館を大規模改修します

新築する桃映地域公民館と同様にSDGsや災害時の活用に配慮した施設改修を実施します。

地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業 1億4760万円 P.86

継続費(単位:千円)	
令和4年	138,840
令和5年	323,960
合計	462,800

新規 地域公民館等スマートシティ推進事業 1200万円 P.87

市内の地域公民館は建築後約40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。地域の拠点施設として公民館活動をはじめ、地域福祉や住民自治等地域コミュニティの拠点として、また広域避難所等に活用していくために、安心と安全性を確保した複合施設として改修整備します。

あわせて、デジタル化の進む時代のニーズに応え、施設利用者へのサービス向上を図るため、各地域公民館にWi-Fi機能を整備します。

(主な取組)

- ◆日新地域公民館・体育館長寿命化改修工事
- ◆六人部地域公民館・体育館長寿命化改修設計業務
- ◆各地域公民館へのWi-Fi整備【新規】

大規模改修の予定年度		
公民館	設計	工事
日新	R3	R4~R5
六人部	R4	R5~R6
川口	R5	R6~R7
成和	R6	R7~R8

Wi-Fi整備予定	
R4	川口、日新、成和、夜久野、大江、
R5以降	六人部、桃映、三和
※北陵は令和3年度に整備済	



日新地域公民館 24

Ⅲ-④

市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

就学援助制度から一步進んだ本市独自の児童生徒支援制度を創設します

新規 スクールライフ応援事業 1113万円 P.90

経済的理由により、学校生活や家庭生活で十分な衛生用品の購入ができない家庭や、学習面でより深い学びや体験、チャレンジ等をする機会を自ら制限せざるを得ない家庭があります。

全ての子ども達の清潔で衛生的な暮らしを実現し、より豊かに学んだり挑戦したりする機会が与えられるよう、本市独自の支援制度を創設し、誰ひとり取り残さず、児童生徒の安全で豊かな未来を支援します。

(主な取組)

◆支援金の給付

- ↳対象者 就学援助家庭(要保護、準要保護家庭)
- 対象費用 就学援助制度対象外の衛生用品(生理用品、消毒用品等)費、学習用品費、各種検定料、インターネット等通信費
- 支給額 12,000円/人・年(定額)



本市の家庭科教育と本市の魅力を全国にPRします

家庭科教育研究会全国大会開催事業 187万円 P.101

11月に「第59回全国小学校家庭科教育研究会全国大会京都大会」が福知山市で開催されます。

公開授業を行う惇明小学校と昭和小学校を中心に、これまでの家庭科教育の研究の成果等を全国に発信します。

(主な取組)

◆「全国小学校家庭科教育研究大会」の開催準備

- ↳研究発表内容の調整
- ↳市のPR等

全国小学校家庭科教育研究会などにより主催され、全国から約500人の教員等が福知山市を訪れます。

シカやイノシシなどのジビエを地元の食資源として食育に活用します

新規 学校給食センタージビエ活用事業 88万円 P.92

福知山市学校給食センターでは地産地消を推進し、地元の産物や多様な食文化への理解を深めることを目的に、シカやイノシシなどのジビエを使用した献立を学校給食に提供します。

食材はジビエの認証施設で処理加工された安心・安全な地元産を使用し、食材費の一部を負担します。

(主な取組)

- ◆年に2回学校給食でジビエメニューを提供
- ◆通常使用している食材とジビエ食材との差額を公費負担

うち1回はドッコイセ大使の杉本シェフ考案のメニュー



令和3年度に提供されたジビエ給食

III-④

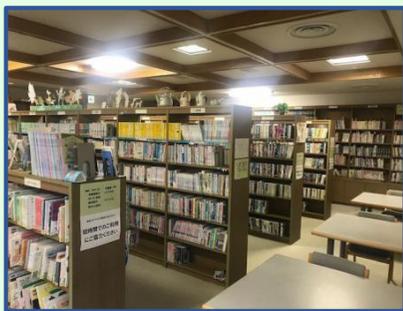
市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

三和支所の改修と合わせて実施し地域の拠点機能を高めます

新規 **三和分館移転改修事業** **6283万円** P.93

三和支所を地域の「教育と福祉の拠点」として整備することに伴い、図書館三和分館を三和支所2階へ移転配置し機能を充実します。

同時に実施される三和支所全体の照明改修(LED化)・空調改修と合わせて内装改修を行い、令和4年度末の移転開館を目指します。



現在の図書館三和分館

- (主な取組)
- ◆内装改修・照明改修(LED化)・空調改修工事
 - ◆移転業務

「withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応します

拡充 **図書館電子書籍貸出サービス事業** **2454万円** P.94

図書館サービスの利便性向上と「withコロナ」の時代の新しい生活様式に対応するため、令和4年1月20日に『ふくちやま電子図書館』のサービスを開始。従来の来館型と非来館型を併用したハイブリッド図書館の更なる充実を進めます。

- (主な取組)
- ◆電子書籍約5千タイトルの購入【拡充】

令和3年度には約1万8千タイトルを整備
今後更なる充実を図り、2万タイトル以上の電子書籍を提供します。



令和3年度に前倒して補正予算計上した大学院設置に向けた校舎整備も合わせて取り組みます。

令和4年度からは第2期中期目標(～9年度)に掲げた取組がスタートします

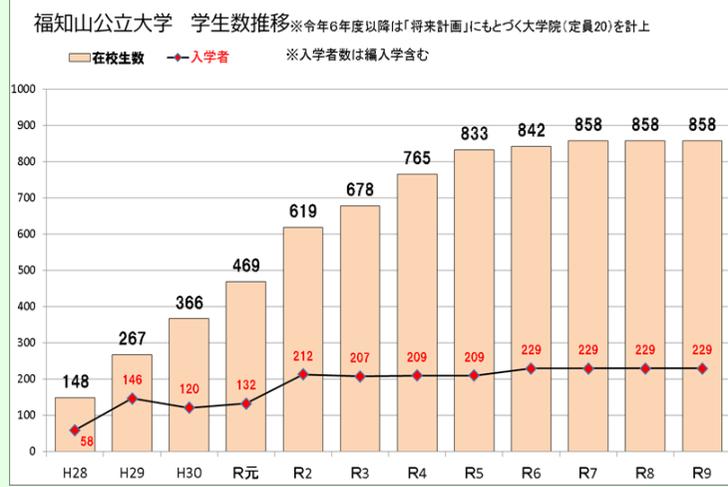
「知の拠点」推進事業 **6568万円** P.96

(繰越)「知の拠点」推進事業 **3億6800万円**

福知山公立大学運営費交付金事業 **5億3776万円** P.95

福知山公立大学では、大学を活かした地域創生の先端事例となる「福知山モデル」の具現化を目指し、教育研究の高度化を図る大学院設置に取り組むとともに、情報技術や社会科学の知見を活かし地域と協働した様々なプロジェクト研究を通じて人材育成、産業振興、まちづくりに貢献し、北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進します。

- (主な取組)
- ◆運営費交付金の支出
 - ◆地域連携・地域協働活動事業
 - ↳北近畿地域連携機構(kita-re)運営
 - ↳地域防災研究センター運営
 - ↳国際センター運営費
 - ↳数理・データサイエンスセンター運営
 - ↳プログラミング教室等の人材育成事業



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、 健やかで活動的なまち

肉体的にも精神的にも

健康的な生活をおくることができるように、
プライベートな空間での活動的な環境づくりを推進します。

生涯を通じた健康づくりはもとより、
スポーツや文化芸術活動をはじめとした、
自分らしい生きがいを持つ、
生活の質に着目したまちづくりを進めます。

III-⑤

市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

厚生会館に代わる新たな文化活動の基盤施設を検討します

新規 新文化ホール計画策定事業 1335万円 P.104

福知山市厚生会館は、昭和37年の建設から60年、平成13年の大規模改修からも21年を経過することから、建物、設備の老朽化や多様化する市民ニーズへの対応が課題となっています。

第2期中心市街地活性化計画の中では、福知山市厚生会館を中心市街地の誘客拠点としていたところであり、平成30年度に策定した福知山市文化振興基本方針においては、文化ホールを文化活動の核となる施設に位置づけています。

新たな文化ホールの整備のための基本構想・基本計画の策定に向けて検討に着手します。

(主な取組)

- ◆有識者や関係団体等で構成する検討委員会の設置
- ◆基本構想・基本計画の検討・策定

避難所機能など施設の複合化も含めて検討します。



老朽化が進む厚生会館

生誕110年を記念し全国の美術館で巡回展を実施します

新規 生誕110年佐藤太清展事業 262万円 P.105

令和5年度に、福知山市名誉市民で文化勲章受章者の日本画家佐藤太清画伯の生誕110年を迎えます。

その画業と功績を顕彰するため、令和5～6年度にかけて巡回展を開催するにあたり、令和4年度は巡回展に参加する美術館で実行委員会を組織し、開催準備を進めます。

巡回展の開催予定美術館

- ・福知山市佐藤太清記念美術館
- ・板橋区立美術館
- ・八幡浜市美術館

※参加美術館は現在の予定であり、今後増える場合もあります。

(主な取組)

- ◆実行委員会の立ち上げ
- ◆巡回展で展示する資料の研究・作成



佐藤太清画伯の代表作「最果の旅」(福知山市佐藤太清記念美術館所蔵)



生誕100年佐藤太清展 福知山会場

III-⑤

市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

健康アプリの導入等でアクティブでウェルビーイングなまちづくりを加速させます

拡充 アクティブシティ推進事業 2004万円 P.106

高血圧制圧のまちプロジェクト事業 131万円 P.107

本市を、アクティブ(活動的・能動的)でウェルビーイング(社会的・身体的・精神的な充足感が満ちている)なまちにするため、スポーツ等に取り組む市民を増やすことを通して、生活習慣病をはじめとした健康課題の解決につなげます。

なお、福知山市民の健康課題の一つは高血圧症です。高血圧症は、無症状のまま長年の積み重ねで、脳卒中・心臓病・腎臓病・認知症等に関係してくることから、若いうちから予防する取組を進めます。

健康活動に応じてポイントを付与します。付与されたポイントは、ふくちやま応援プレミアムポイント事業(P.39)で構築するデジタルプラットフォームと連携して市内登録店での支払い等に利用できるようにします。

(主な取組)

- ◆健康アプリの導入【新規】
- ◆アクティブシティ推進市民会議への参画団体との連携
 - ↳参画団体等の新たな取組に補助金を交付【新規】
- ◆アクティブシティ推進イベントの実施
- ◆高血圧なるほど講座の開催
- ◆塩分摂取量簡易測定の実験者募集
- ◆減塩キャンペーンの開催



積極的勧奨の再開に合わせて接種機会を逃した人への機会を確保します

拡充 子宮頸がん予防ワクチン接種事業 5266万円 P.79

医療機関等関係機関と連携し、ワクチン接種に対する相談支援体制も確保します。

国の方針のもと、副反応等により、平成25年6月から接種の積極的勧奨を差し控えていましたが、令和3年11月26日に積極的勧奨の再開が決定されました。

令和4年度からは通常の定期接種対象者に加えて、積極的勧奨差し控えにより接種機会を逃した人(キャッチアップ対象者)に対しても接種機会を確保し、子宮頸がん予防ワクチン接種を実施します。

(主な取組)

- ◆定期接種対象者への接種
- ◆キャッチアップ対象者への接種【新規】
 - ↳H9年度～H17年度生まれの9学年のうち、未接種の女性に対して実施(R4年4月～R7年3月末)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、 温かく見送られるまち

高齢期になっても、住み慣れた地域で
自分らしい生活を最期まで続けることができるように、
地域の実情に見合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が
一体的に提供される地域包括ケアシステムを
生活インフラとして定着・充実させます。
そのために、介護や医療体制の整備を推進します。

III-⑥

市民一人ひとりが、 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

介護人材を確保し高齢期になっても住み慣れたまちで生活するための社会基盤を強化します

拡充	介護人材確保対策事業	1346万円	<i>P.111</i>	外国人等介護職員雇用推進事業	420万円	<i>P.111</i>
-----------	-------------------	---------------	--------------	-----------------------	--------------	--------------

高齢化が進み、ますます介護が必要な方の増加が見込まれる中、介護人材の不足は著しく、その確保・育成については、一事業所の努力だけでは困難な状況にあります。

こうした介護人材不足の現状を踏まえ、人材確保・定着を図るため、市外からの介護人材の確保策であるUIターン家賃補助制度を、新設する介護人材定着支援に組み替えることで、市外のみならず市内の潜在介護人材の掘り起こしを行い、介護事業所等の人員体制確保を支援します。

また、市外や外国からの人材確保を行う法人に対し支援を行います。

(主な取組)

- ◆UIターン家賃助成(令和3年度以前申請分に限る)
- ◆介護人材定着支援金【新規】
 - ↳市内介護事業所で継続して勤務する方に6か月後に10万円、1年後10万円、2年後、3年後に各20万円を支給



- ◆介護職員初任者研修受講支援
- ◆介護福祉士実務者研修受講料助成
- ◆介護福祉士育成修学資金貸付
- ◆介護職員雇用奨励金
- ◆外国人介護人材家賃補助



国庫補助金を活用し新型コロナウイルス感染症に対応する施設整備を支援します

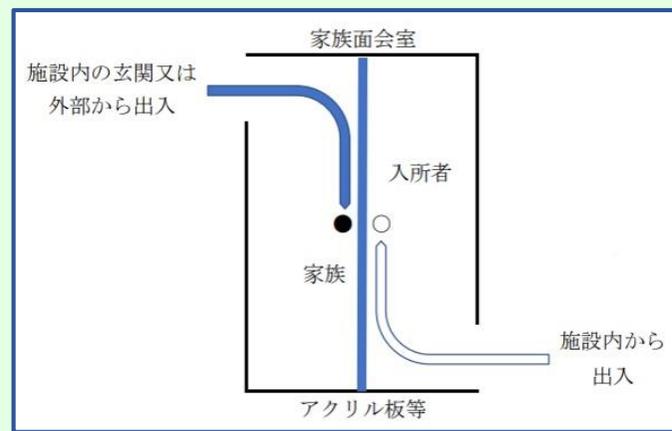
社会福祉法人等施設整備補助事業	1800万円	<i>P.114</i>
------------------------	---------------	--------------

高齢化が進行する中、社会福祉法人等に対して補助を行うことで地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進します。

令和4年度は、介護施設等において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しつつ家族との面会を実施するために必要な家族面会室の整備に係る費用の一部を補助します。

(主な取組)

- ◆社会福祉法人等への施設整備補助(6施設)
 - ↳2方向から出入りできる家族面会室の設置の他、家族面会室における簡易陰圧装置・換気設備の設置、家族面会室の入口に消毒等を行う玄関室の設置、家族面会室がない場合の新規整備等



2方向から出入りできる面会室のイメージ

III-⑥

市民一人ひとりが、 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

令和3年度の見守り機器試験導入の効果検証等を受けて制度を拡充します

拡充 安心生活見守り事業（介護保険事業特別会計） 2708万円 P.158

一人暮らし高齢者の増加や地域のつながりの希薄化等により、既存事業による「見守りの仕組み」について、近隣協力者の負担増も課題となっており、令和3年度にはIoT機器を用いての異常感知通報の効果検証や民生児童委員アンケート等を行いました。

その結果を踏まえ令和4年度からは、事業の対象要件にある身体要件を撤廃し、一人暮らし高齢者または高齢者のみ世帯に拡充するとともに、近隣協力者の登録困難である事例の増加、さらに別居家族の見守りへの参加を促すため、近隣協力者の登録要件を変更します。

なお、自発的な緊急発信だけでなく、センサー機器による見守り(安否確認)についても希望者には有料で設置していきます。

(主な取組)

- ◆コールセンターの設置
- ◆緊急・相談通報装置を利用した急病や事故等の緊急時の対応【拡充】
- ◆センサー機器(有料)を用いた見守り(安否確認)【新規】

対象者要件の拡充	
令和3年度まで	令和4年度から
次の両方を満たすもの ・要介護1以上 ・ひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯	→ ・ひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯

人員確保と先進的な医療機器整備などにより医療機能を一層充実させます

医療機器等整備事業（病院事業会計） 7億8532万円 P.163

市民病院は、地域の中核病院として、先進的な医療ニーズに対応できるよう、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。

令和4年度においては、リモートアフターローディングシステムをはじめとした医療機器等の整備をすすめ、医療提供体制の強化に努めます。

(主な取組)

- ◆リモートアフターローディングシステムの更新
- ◆白内障手術装置の更新 他



白内障手術装置イメージ



リモートアフターローディングシステム

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり

⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、 多様な働き方が生かされるまち

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、
働く意欲のある人が働く場を得られるように、
また、ライフスタイルに応じた多様な働き方や
育児・介護と仕事が両立できるように、
制度設計や民間事業者への働きかけを総合的に推進します。

同時に、企業・事業者のニーズを踏まえつつ、
スキルアップの機会充実や市外への発信力の強化などの
環境整備を進めます。

Ⅲ-⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

誰もが多様な働き方ができるまちとして「障害者雇用1000人のまち」に

拡充 障害者雇用1000人のまちプロジェクト推進事業 947万円 P.116

障害のある人が、就労の機会を得て自分の仕事に誇りを持ち自立した生活を送れるよう、国、府、企業等、様々な関係機関との連携を強化し、協働により障害のある人の雇用促進、定着支援に向けた取組を進め「障害者雇用1000人のまち」を目指します。

(主な取組)

- ◆障害者雇用1000人のまちプロジェクト推進会議の開催
- ◆障害者新規就労支度金制度【新規】
 - ↳新規に就労した人に支度金を支給(3万円/人)
- ◆障害者自動車運転免許教習費助成制度【拡充】
 - ↳(旧)身体のみ 16万円/件 → (新)身体・知的・精神 20万円/件
- ◆障害福祉サービス事業所の工賃向上支援事業【新規】
 - ↳オンラインショップ開設、魅力ある製品づくりに係るアドバイザー派遣
- ◆企業向けの障害者雇用支援事業【拡充】
 - ↳障害者雇用促進セミナー、就労相談アドバイザーの派遣、先進企業視察



令和3年度障害者雇用促進セミナー



Ⅲ-⑦

市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

福知山公立大学と連携して情報スキル取得のためのシニアワークカレッジを継続・拡充します

拡充 シニアワークカレッジ運営事業 300万円 P.117

事業所の労働力不足解消や生産性向上のため、DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入や情報人材の確保が重要になっています。

福知山公立大学の知見を活用し、シニア世代を中心に社会人にむけた実社会で応用できる情報スキルを基礎から学べる教育プログラムを開講し、地域のデジタル化を牽引する人材育成を図ります。

(主な取組)

◆シニア世代を中心とした情報教育プログラムを福知山公立大学に委託して開講【拡充】

○開設予定科目(内容を変更する場合あり)

区分	コース名	概要
継続	データサイエンス	データ活用に必要な数理知識・技能を学ぶ
継続	DX	DXの概念やコンピュータの仕組みなどをゼミ形式で学ぶ
継続	AI(人工知能)	AIシステムの開発技術を実践形式で学ぶ
新規	動画制作	動画コンテンツの自主制作に取り組む
新規	ハードウェア設計	組込デジタル回路の基本技術や設計を学ぶ

令和4年度から開講科目を増やして多様なニーズに応えます。



令和3年度の講義の様子

生活困窮者自立支援法に基づき就労等に向けた自立を支援します

生活困窮者自立支援事業 1329万円 P.110

平成27年4月1日より生活困窮者に対するワンストップ型の「生活としごとの相談窓口」を開設しています。

本事業では、「第2のセーフティネット」として、支援の必要な生活困窮者に対し支援員が本人・世帯に寄り添い、必要に応じて「通所型」又は「就労体験型」のメニューを活用して「経済的・社会的自立」を支援します。

(主な取組)

- ◆自立相談支援事業：生活困窮者からの相談対応と支援内容の情報提供、支援プランに基づく自立支援 等
- ◆住居確保給付金：離職等により経済的に困窮している方への住居確保給付金の支給
- ◆就労準備支援事業：コミュニケーション能力の習得や生活習慣の改善など一般就労に向けた基礎能力形成に係る支援
- ◆一時生活支援事業：住居喪失者に対しての緊急的な宿泊場所の提供

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり ⑧市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、 地域産業の発展に貢献できるまち

本市のみならず北近畿の地域経済の礎となってきた
長田野工業団地の企業定着やさらなる発展に向けて、
同アネックス京都三和も合わせた各般の取組を推進します。
同時に、本市の地域産業の強みや特質を見極めつつ、
かつ産学労金などとの連携を密にしながら、
新しい情報や技術を積極的に取り入れる
進取の産業振興を進めます。

III-⑧

市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

既存産業への支援を強化しつつ新たな産業や雇用の創出と雇用水準の向上を図り地域産業の発展を促します

NEXTふくちやま産業創造事業 1211万円 P.120

拡充 起業おうえん事業 771万円 P.121

拡充 福知山市産業支援事業 3246万円 P.122

コロナ禍による社会価値の変化に伴い、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、その担い手となる新たな企業等の創出に取り組みます。その過程で、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」と、先進的企業の誕生・連携・集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、先進的企業や多様で魅力的な産業の集積をめざします。

また、従来への創業者向け助成制度や創業のノウハウ取得のためのセミナー開催に加えて、新たにNEXT産業創造プログラム受講者のための起業支援制度を設けます。

さらに、産業支援センターを運営することにより中小企業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うとともに、産業支援センターとの連携のもと、商談会への参加等販路開拓の取組に対して支援することで、事業者の販路開拓を下支えします。

(主な取組)

- ◆NEXT産業創造塾・NEXT産業創造プログラムの実施
- ◆起業おうえん助成金
- ◆起業家支援事業補助【拡充】
 - ↳拡充分:NEXT産業創造プログラム受講者の市内での起業経費補助(上限150万円・補助率1/2)
- ◆福知山産業支援センターの運営
- ◆販路開拓に係る補助【拡充】
 - ↳拡充分:ECサイト構築補助(上限15万円/件・補助率1/4)、オンライン商談会参加補助(上限15万円/件・補助率1/4)

福知山公立大学と連携して実施



令和3年度 NEXT産業創造プログラム募集チラシ

長田野工業団地立地企業の設備投資をはじめ新規企業の誘致を促進します

企業誘致促進特別対策事業 1億2118万円 P.123

令和4年度は大型の設備投資を見込み、令和3年度予算比で6720万円の増額

市内既存企業の設備投資やそれに伴う雇用増加に対して支援し、企業の生産性の向上と市外流出を防止します。また、本市への新たな企業の誘致を促進することで、新たな雇用の創出や域内経済の活性化を図ります。

(主な取組)

- ◆企業誘致促進事業:新規立地企業に対する奨励金 等
- ◆操業支援事業:工場の新増設・建替等に対する奨励金 等
- ◆固定資産税(建物等)の免除

III-⑧

市民一人ひとりが、

時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

農業者の稼ぐ力の向上を促して営農継続を積極支援します

新規 稼げる農業ステップアップ事業 483万円 P.124

拡充 稼げる農業応援事業 731万円 P.125

コロナ禍や米価下落の影響を受け収益が減少し、農業者の生産意欲の低下が見られる中で、農業者の所得の向上を図るための農産物の高付加価値化や販路拡大につながる取組を行い、営農の継続を支援します。

また、自らが「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援するために、福知山ならではの農作物等を新たに掘り起こす「ふくちやまの工工もん」発掘事業を引き続き実施するとともに、販路拡大に向け、認定品のPR戦略を展開します。

(主な取組)

◆環境にやさしい農業新規取組応援事業【**拡充**】

↳拡充分：有機JAS認証新規取得助成(上限4万円/件・補助率1/2)

◆環境にやさしい米づくり支援事業【**新規**】

↳有機JAS認証米や特別栽培米の販路開拓や収益力向上に向けて取り組む期間として3年間にわたる支援金を交付

(有機JAS認証米:6千円/10a、特別栽培米:3千円/10a いずれも最大3か年交付)

◆稼げる農業者育成講座事業【**新規**】

◆販路開拓支援事業【**新規**】

↳農業者自らが行う販路開拓の取組に対する補助(上限25万円/件・補助率1/2)

◆「ふくちやまの工工もん」鑑定会実施及び認定品PR

◆商談会及び品評会への参加・出品支援

◆京阪神の料理人等を招いた産地見学会開催【**新規**】



森林を貴重な地域資源と捉え地域振興に役立てます

拡充 林業の担い手支援事業 985万円 P.127

※自伐型林業は、採算性と環境保全を両立し、持続的な森林経営を目指します。現行の林業と比較すると、初期費用も低く、幅広い就労が実現できる可能性があり、林業の担い手の増加が期待できます。

広大で豊かな森林を抱える本市において林業は今後も有望な地域産業の一つです。

林業労働者が安全で安心して働き続けられる環境づくりのために、森林組合や林業事業者への支援を継続して行うとともに、雇用者、自伐型林業(※)者の増加を目指します。

(主な取組)

◆新規就労者や林業労働者の就労環境及び退職金制度への支援

◆森林組合や林業事業者へインターンを希望する学生に対する宿泊・交通費の補助(補助率1/2)【**新規**】

◆自伐型林業に関するフォーラム・研修会の開催【**新規**】

自伐型林業に興味を持つ方が、福知山市で活動されるためのきっかけづくりとします。



施業の様子

III-⑧

市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

有害鳥獣捕獲×ICTで農作物被害の軽減をはかります

有害鳥獣捕獲事業 1億608万円 P.128

スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲） 1629万円 P.129

シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害等を軽減するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による計画捕獲を実施します。

また、鳥獣による農作物被害が多額に上っている状況の中、ICTを活用することによって地域主体の獣害対策を推進し、より効果的な有害鳥獣捕獲を推進します。

（主な取組）

- ◆駆除隊活動、一斉捕獲の実施
- ◆狩猟免許取得支援：免許取得費用の支援(補助率1/2)
- ◆捕獲技術講習会の開催
- ◆獣害対策に関する諸データを同一地図上にマッピングする可視化システムの導入
- ◆モデル地区におけるICT機器を活用した捕獲効率化の推進

三和地域川合地区、夜久野地域直見地区をモデル地区としてノウハウを蓄積し、他の地域への水平展開を目指します。



タブレットに配信された捕獲直前のイノシシの侵入の様子

ポストコロナを睨み新しい仕組みを使って5億円規模の消費喚起を実施します

新規 ふくちやま応援プレミアムポイント事業 1億4900万円 P.131

スマートフォンの専用アプリにプレミアムポイントを付与し市内事業者で決済できるシステムを構築します。利用者は専用アプリをダウンロードして利用します。

ポストコロナ社会での新しい生活様式の実践と、市内の経済活動を応援することを目的に、デジタルプラットフォームを利用して、市民や市外来訪者を対象に「ふくちやま応援プレミアムポイント」を販売し、総額5億円規模の経済対策を実施します。

（主な取組）

- ◆市内の登録店舗で使用できるプレミアムポイントの販売
 - ↳利用期間：令和4年10月から令和5年2月末まで(予定)
 - ↳利用店舗：市内の登録店舗(飲食店等は、京都府新型コロナウイルス感染防止対策認証店)
 - ↳プレミアム率：25% プレミアム分を市が負担します。
 - ↳一人あたり上限額：2万円(プレミアム額+5千円 合計2万5千円)
 - ↳販売総額：4億円(プレミアム額+1億円 合計5億円)

デジタルプラットフォームを利用した他事業での展開(予定)

- アクティブシティ推進事業
健康活動ポイントとして700万円分のポイント付与に利用
- 福知山マラソン支援事業
第30回記念として参加者に1000万円分のプレミアムポイント付与に利用

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくり ⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

公共施設の長寿命化や機能集約に取り組み、
産業・生活基盤を整えるとともに、
防災・減災対策として、居住地の浸水対策、
治山・治水対策を進めます。

Ⅲ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

度重なる内水被害のあった河守～公庄地域で被害軽減対策を進めます

内水対策事業 3億3505万円 P.134

由良川減災対策協議会の大規模内水対策部会において、由良川流域における内水対策について国・府・市などの関係機関により検討を進め、大江町河守～公庄地区をモデル地区として施設配置最適化計画を策定しています。

現在、本計画に基づき陸閘・公手川河川改修の設計、排水ポンプ施設等の工事を進めており、引き続き調節池の整備、ポンプの製作等を実施し、早期の内水被害の軽減を目指します。

(主な取組)

◆河守～公庄地域の内水対策工事(調節池、救急排水ポンプ施設等)

継続費(単位:千円)	
令和2年	90,000
令和3年	480,000
令和4年	276,000
令和5年	2,700
合計	848,700

令和4年度出水期には1.0t/秒の救急排水ポンプが稼働します。



急ピッチで工事が進む救急排水ポンプ施設

令和3年度に調査を実施 浸水被害軽減に向けて各種施設の改良に取り組み効果を高めます

新規 下六人部地区浸水被害軽減対策事業(道路改良) 1300万円 P.135

新規 下六人部地区浸水被害軽減対策事業(農業用施設) 610万円 P.135

下六人部地区浸水被害軽減対策事業(下水道事業会計) 2750万円 P.135

平成26年8月豪雨をはじめとして、台風等の豪雨により下六人部地区において家屋の浸水被害が発生しています。下六人部地区の浸水被害を軽減させるため、道路排水施設、農業用施設、下水道施設の整備等を総合的に実施します。

(主な取組)

- ◆道路改良の詳細設計(5路線)
- ◆長田中池堤体補強の詳細設計
- ◆下水道長田野第1排水区雨水排水施設の詳細設計



堤体補強を行うため池(長田中池)

Ⅲ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

地域の声を集め緊急的・集中的に安全対策を進めます

緊急安全対策整備事業 5000万円 P.137

自治会要望による危険箇所等の改修を行うなど、緊急的に道路橋りょう施設の安全対策を実施することにより危険箇所の軽減を図り、市民の安心・安全な暮らしを確保します。

また、街路樹については成長が著しく、視距の悪化や幅員の減少、根などによる路面の凹凸等が課題となっていることから、伐採を進め歩道を整備します。

(主な取組)

- ◆自治会要望対応工事(200件)
- ◆中央分離帯改良工事
- ◆歩道整備(街路樹伐採含む)



中央分離帯改良のイメージ

PFI方式で整備します 令和3年度には実施事業者が決定し現在着々と進捗中

つつじが丘・向野団地建替事業 3億1159万円 P.138 [債務負担行為額(令和2～8年度) 47億121万円]

市民の安心・安全と居住水準の向上を図るため、「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅つつじが丘団地(市営73戸、府営87戸)、向野団地(76戸)の統合建替を行います。

(主な取組)

- ◆統合建替に係る実施設計
- ◆建設工事着手

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本・実施設計、 許認可申請		12か月				
建設工事			19か月		18か月	
入居				2か月		2か月
解体工事				8か月		6か月
余剰地					19か月(整備)	5か月(活用)

概略スケジュール



新つつじが丘団地の整備イメージ

IV 持続可能な財政構造の堅持

健全な財政構造を持続していくための基本的な方針

「持続可能な財政運営の基本方針」のもと、

持続可能な財政構造を堅持しつつ

「まちづくり構想 福知山」で目指すまちづくりを進めます。

IV 持続可能な財政構造の堅持

① 財源確保

市有財産の積極的活用とアセットによる創出土地等の活用

- ・公共施設マネジメントにより創出された土地や土地開発公社から継承した土地などの利活用による収益等を、公共施設等総合管理基金に積み立て財源を確保(売却・貸付含め 2億4412万円)
- ・その他財産収入の確保(財産貸付収入・売払収入 1億6597万円)
- ・令和3年度までに積み立てた公共施設等総合管理基金を令和4年度の各事業に充当(基金繰入 1億9523万円)

4億1009万円

※基金繰入は含んでいない

ふるさと納税の推進

- ・ふるさと納税の更なる拡大に向けて、関係人口の拡大・継続に係る取組や返礼品事業者と返礼品の拡大などを推進(ふるさと納税寄附金 3億1600万円)
- ・令和3年度までに積み立てたふるさと納税基金を令和4年度の各事業に充当(基金繰入 2億1391万円)

3億1600万円

※基金繰入は含んでいない

受益者負担の適正化

- ・産業廃棄物処理手数料の段階的見直し
(元年度予算 1億2360万円 ⇒ 2年度予算 1億6624万円 ⇒ 3年度予算 2億4178万円 ⇒ 4年度予算 3億1764万円)

7586万円

多様な財源の確保

- ・ネーミングライツ(市民運動場野球場、三段池公園、三段池公園多目的グラウンド、三段池公園テニスコート)、指定ごみ袋(外袋)などによる広告料収入の獲得(1221万円)
- ・基金一括管理方式による効率的な基金運用(1690万円)
- ・都市公園使用の弾力的運用による使用料収入の拡大(748万円)

3659万円

IV 持続可能な財政構造の堅持

② 歳出等の改善

業務効率化の推進

- ・AI-OCR、RPAの導入等によりシステムへの単純入力時間を削減
 - AI-OCR、RPA導入による削減時間(令和3年度):655時間
 - マクロ等導入による削減時間(令和3年度):852時間

削減超過勤務相当額 396万円

PFI方式による事業実施

- ・令和3～8年度に実施するつつじが丘・向野団地建替事業は、本市で初めてPFI方式を採用し、トータル費用を削減
 - 従来方式と比べた削減率 $\Delta 8.77\%$ 削減額 1億8215万円

建設費削減試算額 1億8215万円

公共施設照明LED化による電気料の削減

- ・令和4年度に照明LED化に取り組む施設(R3に前倒し補正し繰り越して実施する施設を含む)における電気料を削減
 - 15施設(P.14参照)の年間削減額 865万円/年(令和5年度以後に効果発現)

電気料削減見込額 865万円

地方債繰上償還による公債費の抑制

- ・繰上償還を実施し、将来の公債費負担を抑制
 - 令和3年度実施 5億円
 - 令和4年度予定 3億9988万円

R3繰上償還実施額 5億円

R4繰上償還予定額 3億9988万円

R3繰上償還によるR4償還抑制額 3億円

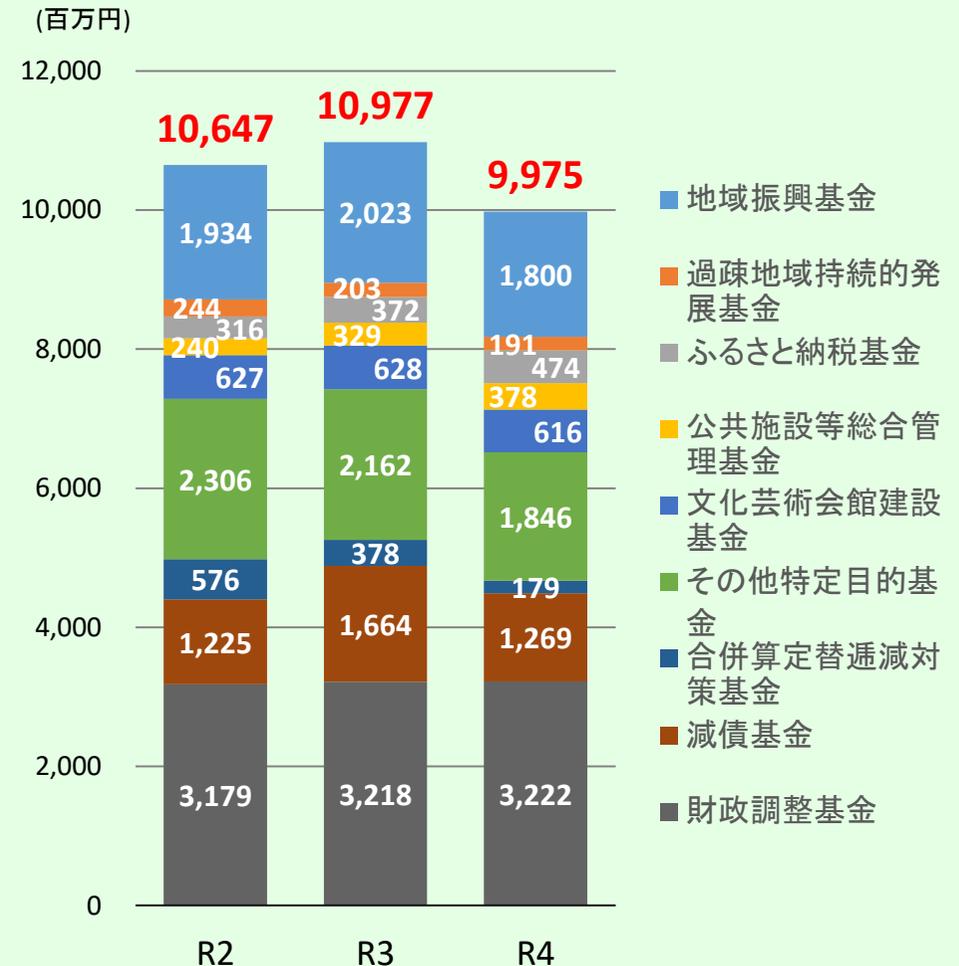
IV 持続可能な財政構造の堅持

③ 基金残高

- 全基金残高は、前年度末見込みに比べて10.0億円減少し99.8億円(令和4年度末見込み)
- 財源対策基金は、普通交付税の合併算定替加算の急激な逓減の影響を緩和するための合併算定替逓減対策基金を第6次行革で予定した取崩し予定額のとおり2.0億円取り崩したこと、減債基金を繰上償還の財源として4.0億円取り崩したことにより、前年度末見込みに比べて5.9億円の減
- 集会施設の民間譲渡やKTR支援事業に係る繰入額が大きい地域振興基金は2.2億円の減
- 令和3年度・4年度とふるさと納税寄附金が大きく伸びていくことを見込み、ふるさと納税基金は1.0億円の増

(単位 百万円)

	年度末 基金残高			前年度比		
	R2	R3	R4	増減額	増減率(%)	
特定目的基金	地域振興基金	1,934	2,023	1,800	△ 223	△ 11.0
	過疎地域持続的発展基金	244	203	191	△ 12	△ 5.9
	ふるさと納税基金	316	372	474	102	27.4
	公共施設等総合管理基金	240	329	378	49	14.9
	文化芸術会館建設基金	627	628	616	△ 12	△ 1.9
	その他特定目的基金	2,306	2,162	1,846	△ 316	△ 14.6
財源対策基金	合併算定替逓減対策基金	576	378	179	△ 199	△ 52.6
	減債基金	1,225	1,664	1,269	△ 395	△ 23.7
	財政調整基金	3,179	3,218	3,222	4	0.1
合計	10,647	10,977	9,975	△ 1,002	△ 9.1	



IV 持続可能な財政構造の堅持

④ 市債残高

- 市債残高は普通会計、全会計ともに減少の見込み(実質的な市債残高(*)も、ともに減少)
- 普通会計の実質的な市債残高は120.8億円となり、前年度に比べて2.8億円減少の見込み(市民ひとりあたりの実質的な残高は0.3万円減少の15.8万円)
- 全会計の実質的な市債残高は398.8億円となり、前年度に比べて3.3億円減少の見込み(市民ひとりあたりの実質的な残高は0.4万円減少の52.1万円)

(*) 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

(単位:百万円)

	R2年度		R3年度		R4年度		実質的な市債残高の増減	
	市債	実質的な市債	市債	実質的な市債①	市債	実質的な市債②	増減額②-①	増減率(%)
普通会計	49,527	12,748	48,017	12,360	46,942	12,083	△ 277	△ 2.2
全会計	90,778	40,649	89,154	40,215	87,905	39,884	△ 331	△ 0.8
市民一人あたり実質的な市債残高								
普通会計		16.6万円		16.1万円		15.8万円	△ 0.3万円	△ 1.9
全会計		53.1万円		52.5万円		52.1万円	△ 0.4万円	△ 0.8
(人口)	R3.3.31	76,584人	R3.12.31	76,548人	R3.12.31	76,548人		

